小学生の男の子と女の子が「住みやすい環境を守るために行動する」ことを宣言

キレイな空や川の流れ、美しい海

暗転し工場の煙突から排ガスがたくさん出ている

山積みの生ごみとその周りを数羽のカラスが鳴きながら飛びまわっている

海の中にプラスチックの破片やごみがたくさん浮遊している

死んだ魚がたくさん浮かんだ海面

海岸にごみを吐き出して死んでいるクジラが横たわっている

動画タイトル「ごみについてかんがえよう！」

ここはとある小学校

教室でロボット先生が男の子と女の子に授業をしている様子

ロボット先生が、昔は自然から得た食べ物を排泄物として活用し

循環していた地球での暮らしについて説明

男の子と女の子が驚きながら納得する

産業革命後に人口が急激に増え、空気が汚染され

土に返すことができないほど、ごみが増えたことを説明

ごみ清掃員が登場し、ごみについてのクイズを出題

増えたごみを直接埋め立ていたことを説明する

埋め立てることも難しくなってきたため、焼却場を建設しごみを燃やすことで

灰にして容量を小さくして埋め立てることにした経緯を説明

ごみを燃やすために、焼却炉を定期的に点検し整備する必要があり

しっかりごみが分別がされていないことによって大変だと嘆く

ロボット先生が、温室効果ガスによって、南極の氷が解け、異常気象や山火事が増えていて

海の温度が上がり、プラスチックごみが海に流れ出て、魚に影響を与え私達が魚を食べられなくなる可能性もあると説明

ロボット先生が、だからこそしっかりごみについて私達が考える必要があると強く訴える

男の子と女の子が、どうすればいいか悩みながら、考えたことを話す

ロボット先生が、動画を見ているみんなにも一緒に考えてほしいと訴える

美しい自然の映像が流れ、男の子と女の子がこの大好きな自然を守るために私達が考えるんだと決意する

今日からやるべきことを①燃やすごみはできるだけ減らして水をよく切ってから捨てる②住んでいる町のごみの分別を学んでしっかり分別③一番大切な事は継続すること

の３点にまとめる

エンドロールとテーマ曲が流れる